

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	就業規則に定めるほか、コンプライアンスマニュアルにも明記して、各種差別防止体制を整備しています。毎年、全職員からハラスメントチェックリストを用いた点検を実施しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	就業規則に定めるほか、コンプライアンスマニュアルにも明記して、各種ハラスメント防止体制を整備しています。毎年、全職員からハラスメントチェックリストを用いた点検を実施しています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	毎月3日間の定時退庫日を定め、終業時間に帰宅しているほか、時間外労働許可申請による許可が無ければ時間外労働ができない態勢としており、過度な長時間労働の防止に取り組んでいます。									8.5 8.8								
	□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在外国人労働者の雇用はありませんが、今後ダイバーシティ経営が進展する中で、差別、人権侵害がない体制整備をコンプライアンス研修を通じて職員に浸透させています。				4.4					8.7 8.8	10.2 10.3							
	□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	交通安全委員会を設け、通勤途上の事故、業務中の事故の防止に向けた啓蒙活動を実施するとともに、衛生委員会を設け、各部署の衛生委員を中心に職場の衛生管理を実施し、労働環境の整備に努めています。			3						8								
	□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	ストレスチェックを毎年実施し、職員のメンタルヘルス状況の確認を実施しています。			3														
	□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性の活躍できる職場環境整備を強化し、総合職への転換や女性渉外担当を登用しています。また、障害者採用も実施しているほか、高齢者採用についても就業規則の改定により積極的に進めています。					5.1 5.5				8.5	10.2 10.3							
	□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	職場内OJTはもとより、各種研修へ職員を積極的に派遣しています。また、公的資格の取得を奨励援助し、職員の資質及び自己啓発意欲の向上を図り、積極的な人材育成に取り組んでいます。				4	5.5				8	9							
	□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を踏まえて、同一労働同一賃金の原則に沿った対応を行っています。					5.5				8.5	10.2 10.3							
	□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上に取り組んでいる	チャレンジ	アニバーサリー休暇や3日間の連続休暇制度の導入により、職員が健康で働き甲斐のある職場作りを努めています。			3						8								
	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物は分類、分別を実施し、専門業者により適切に処理しています。											11.6	12		14.1			
	□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	本部及び全店でエネルギー使用量の削減に向けて使用量を把握し、削減に努めております。								7.3					13				
	□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	温室効果ガスの排出量を直接把握できていませんが、電力使用量や紙の使用量など代替値により管理し、排出の抑制を努めています。								7.2 7.3			12.4	13.3					

14	環境	□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	LED照明の導入に伴う設備の更新に当たっては、PCB等の有害化学物質の使用の有無を全数確認のうえ、適切な保管処分を行っています。	3.9			6.3			11.6	12.4											
		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	全店環境に配慮した事業活動に取り組み、生態系に影響を及ぼさない配慮をしております。				6.6								15							
		□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	資源の再利用については、資源ごみについて、分別業者に回収を依頼して、リサイクルに取り組んでおります。									13		14.1								
		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	使用量を把握し、削減に取り組んでおります。					6.4	6.6													
18	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7						12	13.3	14	15				
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	ディスクロージャー誌に事業活動として、環境活動も掲載し開示しております。													12.6							
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2							13						
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ															12.2	13	14	15			
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	当金庫は「信用」「真実」「親切」の3Sを常に意識しながら行動するコンプライアンス誓約を制定し、お客様の信頼に応えられるよう常に朝礼で唱和しております。コンプライアンスマニュアル、行動綱領を定め、金融機関職員として高い倫理観を持ち行動することの重要性を研修会等を開催し周知しております。																	16	16.5		
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	当金庫は「信用」「真実」「親切」の3Sを常に意識しながら行動するコンプライアンス誓約を制定し、お客様の信頼に応えられるよう常に朝礼で唱和しております。コンプライアンスマニュアル、行動綱領を定め、金融機関職員として高い倫理観を持ち行動することの重要性を研修会等を開催し周知しております。																		16		
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産に着目した事業性評価を通じて取引先企業の理解を深め、課題解決型提案営業を促進するため、特許庁より平成30年度中小企業知財金融促進事業伴走型支援機関に採択され、委託事業者によるコンサルティング、実地研修を受けました。この知見を金庫全体の事業性評価につなげております。									8.2	8.3	9									
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護に関する各種規程を整備し、全職員へ周知を図っており、定期的に研修会を実施しており、適正な個人情報の取り扱いを行っています。																		16		
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																			16		
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ					5				8		10			12	13	14	15	16	17		



体制	39	<ul style="list-style-type: none"> <li>【リスクマネジメント】</li> <li>・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している</li> </ul>	チャレンジ	リスク評価書を制定し、リスクの定義と、リスクベースアプローチによるリスクマネジメントを実施しています。また、各種リスク別リスク管理要領を整備し、各リスク主管部署でのリスクマネジメントも実施しています。															16
	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>【社会的責任】</li> <li>・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる</li> </ul>	チャレンジ	当金庫は、地域社会の発展に貢献する理想のもとに、地域社会の全企業、全生活者のために心から奉仕する基本方針と、地域経済のもとをなす全生活者や地域内企業とは使命共同体であり、地域経済の発展・繁栄なくして当金庫の繁栄もないという理念のもとに業務に取り組んでおります。														16	
	41	<ul style="list-style-type: none"> <li>【事業継続】</li> <li>・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している</li> </ul>	チャレンジ	業務継続計画(BCP)を策定しているほか、毎年訓練を実施しています。また業務実態を踏まえた、業務継続計画の見直しも随時取り組んでいく方針です。							9		11				13 13.1		16
	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>【事業承継】</li> <li>・事業承継に関する検討・対策を行っている</li> </ul>	チャレンジ	複数の専門企業や団体等と提携し、地元中小企業の事業承継問題に積極的に対応する体制を整備しています。								8	9						

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

**【記載留意事項】**

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）